

## 「夏休みユニセフ教室～親子で参加する外国コイン仕分け活動」 …… 72名が参加しました ……

ユニセフでは、「外国コイン募金」に取り組んでいます。日本国内では、一部の紙幣を除いては両替できませんが、それぞれの国に戻れば立派な「貨幣」です。仙台空港の「ユニセフ外国コイン募金箱」から年1回収し、夏休みに「1日ボランティア活動」として仕分けを行っています。7月29日（土）みやぎ生協文化会館ウィズを会場に開催し、小学生親子など22家族56名とユニセフ・ボランティア16名が参加しました。ユニセフはどのような活動をしているのか、今日の仕分け活動がどのように役立つのかなどを、ビデオ「ユニセフと地球のともだち」で学習したのち、仕分け作業に入ります。金種ごと枚数を数え、日本円に換算した結果、コイン125,023円（紙幣：170,172円）計295,195円でした。アメリカ、韓国が多かったです。午後の学習では、経口補水療法（脱水症から身を守る）やマラリア予防の蚊帳、水がめによる水運び体験、パネルシアター「100円のできるこ」を体験しました。最後に、参加者（保護者を除く）一人ひとりに「ボランティア認定証」を授与しました。本日の活動を振り返り、これからもユニセフのことや同年代の世界の子どもたちのことに関心を寄せてほしいことを伝えました。



## 国際理解講座「ガーナ協力隊活動と東日本大震災」

6月24日（土）日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）エッグホールにおいて、菅野芳春さん（一般社団法人ワタママスマイル代表理事）をお迎えし、青年海外協力隊としてガーナでの活動のことや東日本大震災後の石巻渡波での支援活動のお話しをしていただき、40名が耳を傾けました。参加した大学生にとって、JICAの活動を学ぶ機会にもなりました。日本生協連でお仕事をしているアイザックさんと二人のガーナ人留学生も参加しました。

『国際協力とは、見て見ぬふりしないこと!』というのがとても印象的でした。



## 出前授業 @大崎市立宮沢小学校

7月3日、毎年ユニセフ学習会でお呼びいただいている宮沢小学校へ出かけました。今年の6年生はちょっと人数が少なく16名でしたが、みんなハキハキと元気よく授業に望んでくれました。日本で暮らす小学生の1日を振り返り、特に開発途上国や紛争の地で毎日を送っている同年代の子どもたちの様子を学習しました。学びたくても学べない、いつもお腹をすかせている、ゆっくりと眠ることができない



毎日を送っている子どもたちがいることを知り、日本にいる私たちは何をしたらいいのかを考えました

## 全国協定地域組織学習講師研修会に参加しました

（公財）日本ユニセフ協会の協定地域組織は全国25の道府県に協会があります。年1回、「学習講師」が集まり、研修会が行なわれています。6月22日～23日、東京のユニセフハウス（港区高輪）で開催され、宮城からは事務局スタッフの門馬さんが参加しました。今年もいろいろな事例を学ぶ機会となりました。

